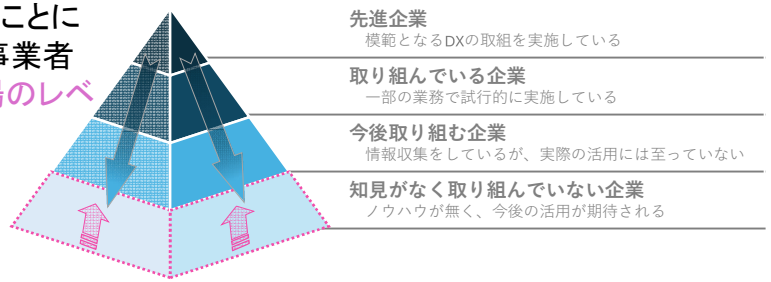
「ダム現場の働き方改革事例集」

別添

〇ダム現場では、熟練技能者の不足や時間外労働規制等を背景に、3次元データの活用や、ICT建設機械、生成AIの導入をはじめとしたDXを推進し、受発注者の連携による生産性向上と働き方改革に取り組んでいる。
〇現場での取り組み事例を紹介し、さらなる展開を図るため「ダム現場の働き方改革事例集」を公開。
〇**ダム事業の魅力や企業価値の発信、業界全体の知識の向上を図り「新4K」をさらに推進。**

先進的な取組の共有によるダム現場のレベルアップ（イメージ）

・先進的な取組を発信・共有することにより、ノウハウが不足している事業者や企業の取組を促し、ダム現場のレベルアップを目指す。



取組事例（鳴瀬川総合開発事業）

・地質調査、工事において、遠隔臨場により、受注者・発注者の業務を効率化。
・立会業務のリモート化により、現場への移動時間を**約26日分を短縮**（令和5年度実績）。

従来（現地立会）

監督職員が臨場する場合
移動（往路）　約８０分
立会　　約３０分
移動（復路）　約８０分
計 約１９０分
（３時間１０分）

現在（リモート）

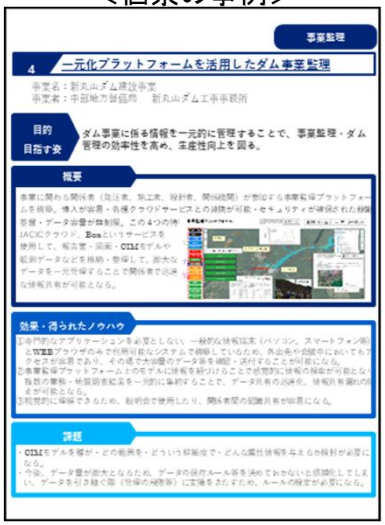
リモート化した場合
立会　　約３０分
計 約３０分

※受注者においては、時間調整の簡易化、待ち時間の削減といったメリットがある。

ダム現場の働き方改革事例集

・国土交通省、水資源機構、都道府県のダム建設、管理ダムにおける106事例を収集。

＜個票の事例＞



・「新技術・新材料・新工法の現場実装」にて検証中の8件の提案を、合わせて掲載。

＜個票の事例＞